

安田女子大学日本文学科公開講座

文学を読む、いま

福山から考える読書の過去・現在・未来

【日時・講座内容】

2026年11月21日（土）

◆第1部 9:30 ～ 10:30

AI時代の読書：チャットGPTと楽しむ文学の世界

中尾 康朗 教授

◆第2部 10:45 ～ 11:45

教科書作品の昔と今 ～井伏鱒二「山椒魚」のゆくえ～

大滝 一登 教授

会 場：福山市生涯学習プラザ まなびの館ローズコム 中会議室
（福山市霞町一丁目10番1号）福山市中央図書館4階

※JR福山駅南口から徒歩約5分 駐車場利用は有料となります

開場時間：9:00

対 象：一般の方・大学生・高校生

募集人数：100名 先着順

※定員になり次第締め切らせていただきます

受 講 料：無料

申込方法：グーグルフォームまたはハガキ

【グーグルフォーム】右記のQRコードをスマホで読み取りお申込みください

※1名ずつエントリーしてください

【ハガキまたはメール】①～④を明記し、下記の申込先へ郵送または送信してください

①郵便番号 ②住所 ③氏名（ふりがな）④電話番号

※1枚のハガキまたはメールで複数名申し込みできます。ただし、①～④は全員分記入してください



申 込 先

安田女子大学文学部 日本文学科事務室 公開講座係
〒731-0153 広島市安佐南区安東6-13-1
電話：082-878-9172（日本文学科事務室直通）
E-mail：nichibun_box@yasuda-u.ac.jp

個人情報の取り扱いについて

住所・氏名・電話番号等の個人情報については、この講座の目的以外には使用いたしません

●講座の概要

教科書で親しまれてきた井伏鱒二「山椒魚」と、ChatGPTに代表される生成AI。いま、私たちを取り巻く読書環境は大きく変わりつつあります。

本講座では、「山椒魚」が教室でどのように読まれ、世代を超えて受け継がれてきたのかを振り返るとともに、AI時代の新しい読書の可能性について考えます。教科書、図書館、AIというそれぞれの視点から、文学と出会い、楽しみ、学ぶことの意味を探ります。



●講座の内容

<第1部 9:30～10:30 >

「AI時代の読書：チャットGPTと楽しむ文学の世界」

中尾 康朗 教授

近年、ChatGPTをはじめとする生成AIが身近な存在となり、私たちの「読む」環境は大きく変わりつつあります。文学作品について疑問を尋ねたり、作品の背景や関連作品を調べたり、感想を共有したりと、AIは新しい読書のパートナーになりつつあります。本講座では、AIを活用した読書の可能性を紹介するとともに、人間ならではの読書の楽しみや文学を味わう意義について考えます。図書館やデジタル技術が広げる新たな文学との出会いにも触れながら、AI時代の読書のあり方を探ります。

<第2部 10:45～11:45>

「教科書作品の昔と今 ～井伏鱒二「山椒魚」のゆくえ～」

大滝 一登 教授

福山を代表する作家である井伏鱒二の「山椒魚」を中心に、教科書作品としての昔と今を市民の皆さんと考える公開講座です。「山椒魚」は教室でどう読まれてきたのか、また、現代社会の中で「山椒魚」に代表される井伏作品はどのように取り上げられているのか。今回の講座では、教科書掲載状況や実践事例などを紹介しながら、井伏作品の魅力や教材としてのこれからの可能性について、皆さんと一緒に考えてみたいと思います。